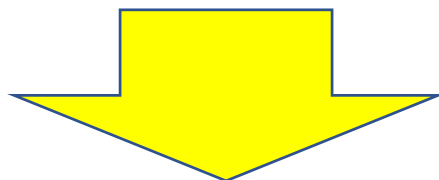


第3章．婚活・結婚支援サービス業界の現状

(これまで)

- ・世話好きな親戚や知人が「お見合い」の話を持ってくる
- ・職場内恋愛などの出会いの機会



(最近)

- ・こうした出会いの機会が減少。
- ・マッチングアプリの利用が増加するなど、新たな出会いの機会も誕生。

ここでは、最近の結婚支援サービス業界全体の動向や、個別の婚活・結婚支援サービス事業者の状況・近年の婚活サービスに対するイメージの変化等について紹介します。

- 男女ともに30代において利用経験者が多い（30代男性15.7%、30代女性12.4%）。また、現在利用経験がなくても、20代女性の5人に1人以上が今後利用したいと回答。

婚活サービスの利用状況

(%)

		n=	過去に利用したことがあり、現在は利用していない	現在利用している	利用したことがない
TOTAL		109089	8.5	2.3	89.2
男性	合計	54789	9.4	2.8	87.8
	20~29歳	4953	9.3	5.5	85.2
	30~39歳	11919	10.9	4.8	84.3
	40~49歳	14180	10.5	2.9	86.6
	50~59歳	12205	9.6	1.7	88.7
	60~69歳	11532	6.2	0.8	93.1
女性	合計	54300	7.6	1.8	90.6
	20~29歳	10819	8.1	3.0	88.9
	30~39歳	12641	9.7	2.7	87.6
	40~49歳	11332	8.2	1.5	90.2
	50~59歳	12148	6.5	1.1	92.4
	60~69歳	7360	3.9	0.4	95.7

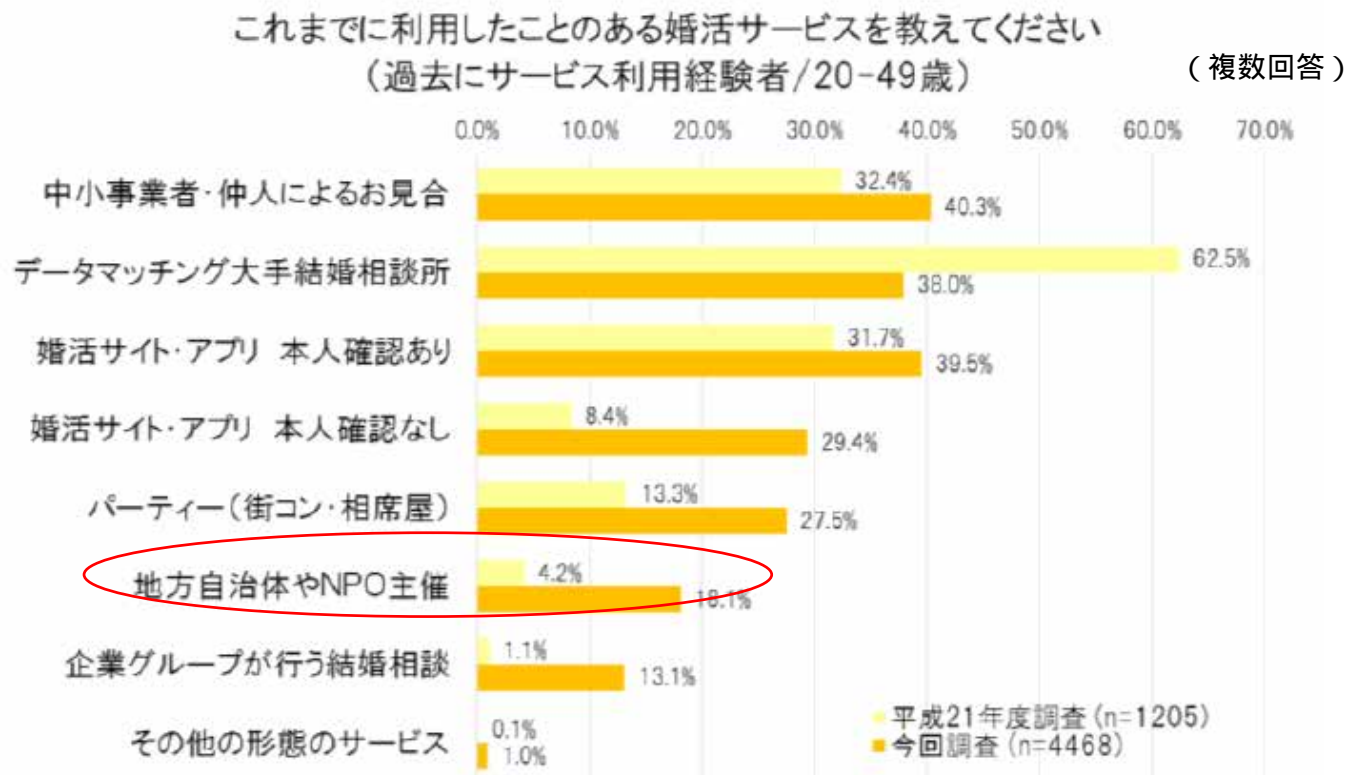
婚活サービスの利用意向

(%)

		n=	ぜひ利用したい	どちらかといえば利用したい	どちらかといえば利用したくない	利用したくない	わからない
TOTAL		25,339	10.9	15.4	43.7	27.1	
男性	20~29歳	3,175	14.0	16.7	37.4	28.1	
	30~39歳	5,431	9.9	14.2	43.8	28.6	
	40~49歳	5,025	8.7	12.9	49.6	26.4	
女性	20~29歳	4,608	16.4	19.4	34.0	26.6	
	30~39歳	3,792	10.6	16.3	42.6	27.7	
	40~49歳	3,308	5.3	13.1	55.0	24.9	

3.6

- ・婚活・結婚支援サービス利用者が選択するサービスは約10年前と比べて、多種多様に。
- ・地方自治体やNPO主催のサービスを利用する人の割合についても、約10年で4.2%から18.1%と約5倍に増加。



- ・婚活・恋人探しの活動内容をみると、都市規模に関わらず、「友人・知人の紹介」や「婚活イベント」などのほか、「マッチングアプリ」の利用も活発。

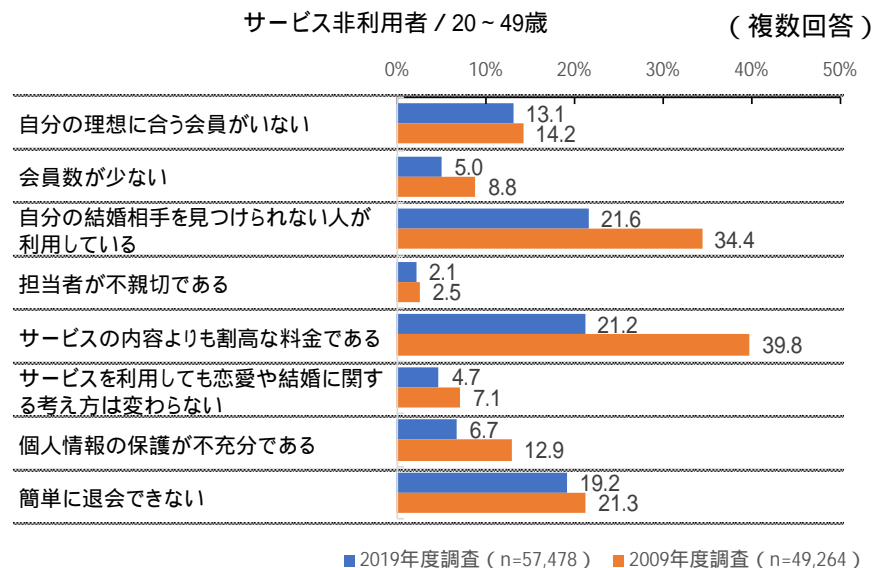
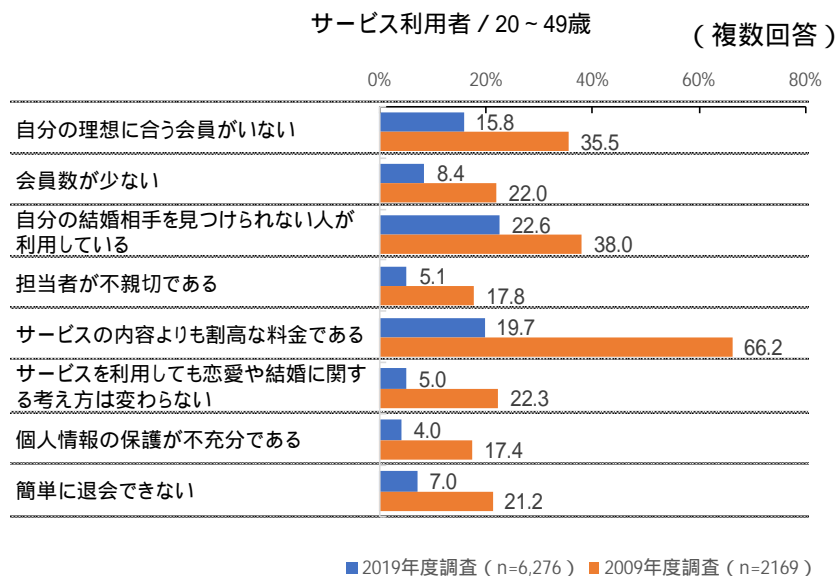
現在の婚活・恋人探しの活動内容

(複数回答) (%)

n=		友人・知人に紹介を頼む	マッチングアプリ	合コン、街コン、婚活パーティーなどの出会いを目的としたイベント	職場の同僚や先輩に紹介を頼む	サークル活動、習い事、資格取得のための学校	SNS やオンラインサービス	家族や親戚の紹介/お見合い	民間の結婚支援事業を利用する	地方自治体やNPOなどの団体の結婚支援事業を利用する	その他	行っていない	
未婚者 TOTAL	合計	1370	25.1	24.7	17.6	10.5	6.2	5.8	5.3	4.2	2.9	0.2	52.3
	政令都市在住	461	24.3	24.1	17.6	10.8	5.6	7.2	4.1	4.3	1.5	0.2	52.7
	中核都市在住	454	25.8	24.7	18.7	10.6	5.7	5.9	7.3	3.3	3.7	0.4	54.0
	地方部在住	455	25.3	25.3	16.5	10.1	7.3	4.4	4.4	4.8	3.5	0.0	50.1
未婚者・ 男性	合計	687	29.5	29.4	21.4	14.0	7.9	7.9	6.4	5.5	3.8	0.1	46.0
	政令都市在住	229	29.3	31.9	21.0	15.7	7.9	10.9	4.4	5.2	2.6	0.0	43.7
	中核都市在住	229	30.6	28.4	24.0	14.8	7.4	6.1	9.2	5.7	5.7	0.4	47.6
	地方部在住	229	28.8	27.9	19.2	11.4	8.3	6.6	5.7	5.7	3.1	0.0	46.7
未婚者・ 女性	合計	683	20.6	19.9	13.8	7.0	4.5	3.8	4.1	2.8	2.0	0.3	58.6
	政令都市在住	232	19.4	16.4	14.2	6.0	3.4	3.4	3.9	3.4	0.4	0.4	61.6
	中核都市在住	225	20.9	20.9	13.3	6.2	4.0	5.8	5.3	0.9	1.8	0.4	60.4
	地方部在住	226	21.7	22.6	13.7	8.8	6.2	2.2	3.1	4.0	4.0	0.0	53.5

内閣府子ども・子育て本部 『令和3年度結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム開発調査報告書』 「現在の婚活・恋人探しの活動内容」

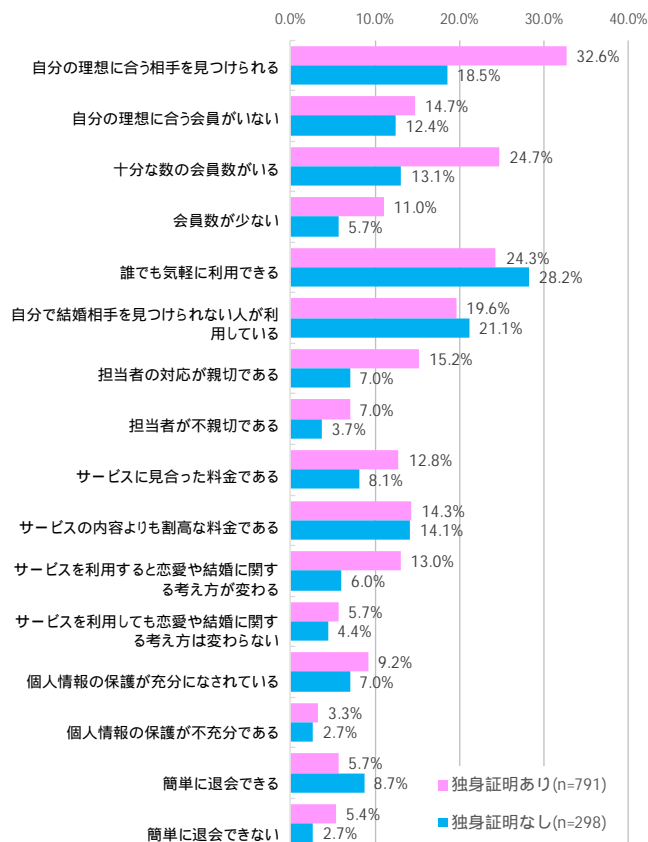
- ・ 変化する婚活サービスのイメージ：婚活サービスを利用することの抵抗感/マイナスイメージが減っている。
- ・ 利用経験者において、ネガティブなイメージである「割高な料金」については2009年調査の66%から2019年調査の19.7%に減少。「結婚相手を見つけられない人が利用している」については2009年調査の38%から2019年調査の22.6%に減少。
- ・ 非利用経験者においても、ネガティブなイメージは大幅に減少し、「結婚相手を見つけられない人が利用している」という回答は、2009年調査時の34%から13%低い、2019年調査の21%となった。



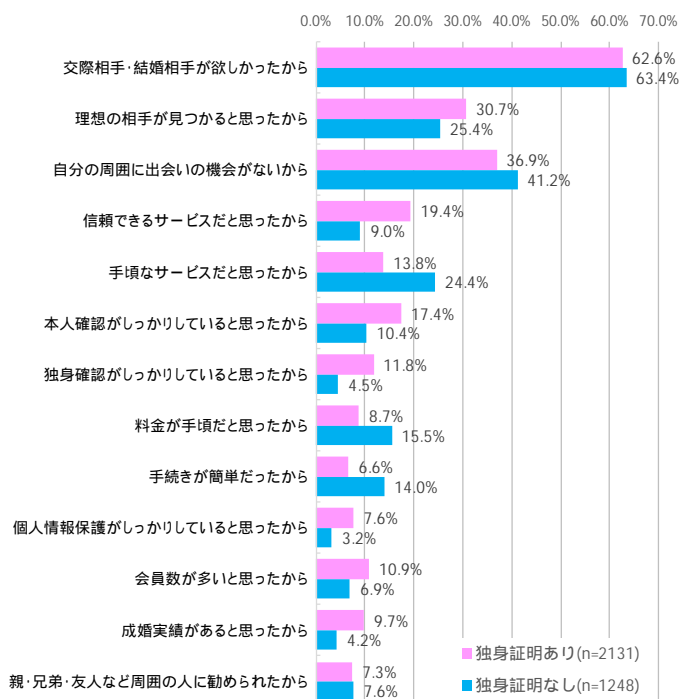
(注) 婚活サービスのイメージについて、ポジティブなイメージに関する以下の項目は省略。
 「自分の理想に合う相手を見つけられる」「十分な数の会員がいる」「誰でも気軽に利用できる」
 「担当者の対応が親切である」「サービスに見合った料金である」「サービスを利用すると恋愛や結婚に関する考え方が変わる」「個人情報の保護が充分になされている」「簡単に退会出来る」

- ・「信頼性」、「手ごろさ」など婚活サービスの利用理由はサービスの種類によって違い。
- ・独身証明ありのサービスでは「信頼・安心」、独身証明なしのサービスでは「手ごろさ、簡単さ」に関係する回答が高い。

表A サービスの 카테고리ごとのイメージを教えてください。
(現在サービスを利用している/20-49歳) (複数回答)



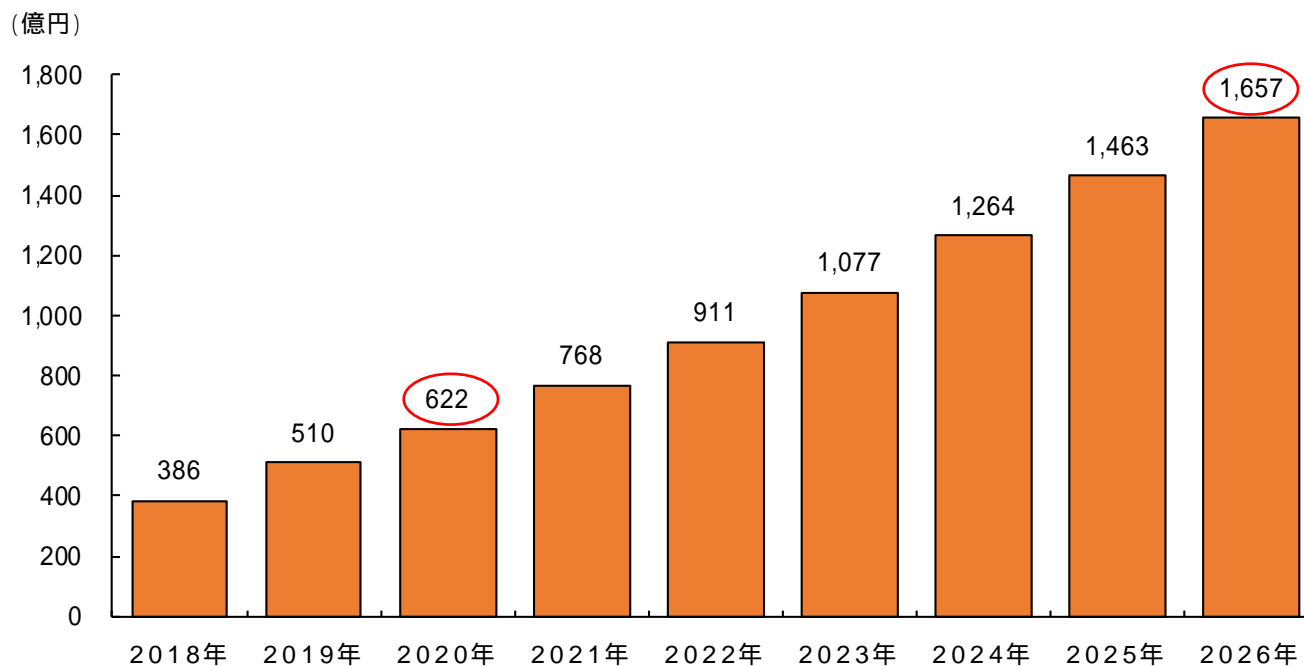
表B なぜ結婚サービスを利用しましたか？
(過去にサービス利用経験者/20-49歳) (複数回答)



定義について
【独身証明あり】
 独身証明を必要とする中小企業や個人が提供のお見合いのセッティングや結婚や交際のサポートをするサービス、独身証明を必要とする大手結婚相談・結婚情報サービスが提供するデータマッチングにより相手を探すサービス。
【独身証明なし】
 インターネット上で、自分が結婚相手を探すことを支援するサービスのうち、本人確認を行っているサービス。インターネット上で自分が結婚相手を探すことを支援するサービスのうち、本人であることの確認などはなされず、自由に活動を行うことができるサービス。インターネット・スマホ婚活。

- ・ 2020年のオンライン恋活・婚活マッチングサービス市場は、前年比約2割増の622億円。2026年には2020年比2.6倍の1,657億円に達する見込み。

国内オンライン恋活・婚活マッチングサービスの市場予測

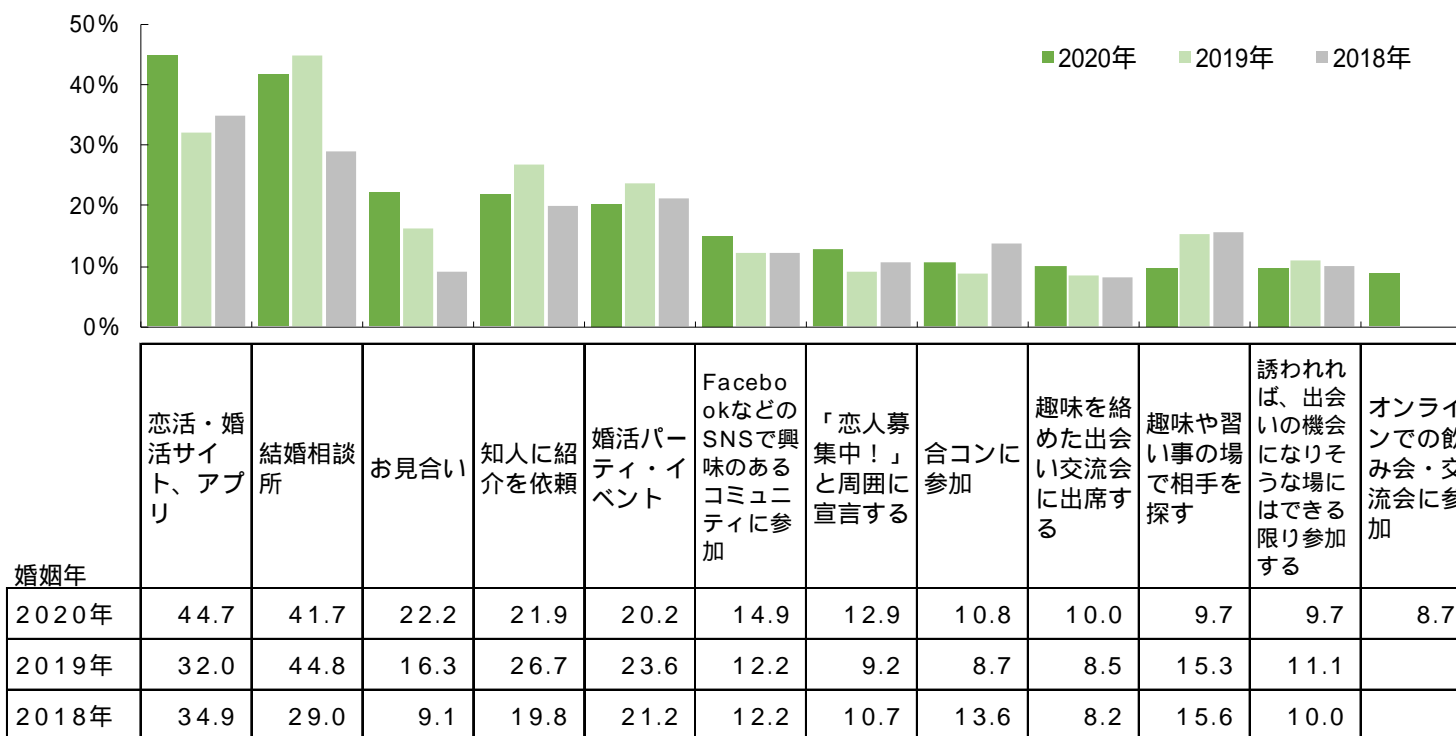


『2021オンライン恋活・婚活マッチングサービスの国内市場調査』
(マッチングエージェント/デジタルインファクト調べ)

Copyright ©MatchingAgent, Inc. All Rights Reserved.

- 結婚した人の婚活支援サービスの利用状況を見ると、コロナ禍もあってか、婚活サイト・アプリの利用割合が増えている。利用割合は、婚活サイト・アプリ（44.7%）、相談所（41.7%）、お見合い（22.2%）、知人に紹介を依頼（21.9%）、婚活パーティ・イベント（20.2%）。

民間の婚活支援サービスの利用状況



- ・ 結婚相談所は、結婚を希望する独身の会員に対して、結婚を前提とした出会いを支援するサービス。
- ・ 利用するには本人確認書類に加え、独身証明書や年収証明書などを求める事業者が多い。

(事業者・団体により異なる。上記は一般的な例示)



- ・ オンラインサービスは20代～30代の利用者が多く、恋愛や結婚対象となるパートナーとの出会いを気軽に見つけれられるサービス。
- ・ 利用料金が定額制のところが多く、比較的安価で気軽に始められる。
- ・ 最近は、オンラインサービスであっても、独身証明書の提出を求めたり、専用のカウンセラーが支援するなど、利用者の真剣度に応じて、様々なサービスを提供。

(事業者・団体により異なる。上記は一般的な例示)



- 地域の結婚支援センター等が提供するサービス内容を明記

パートナーを見つけるための活動をオンラインでサポートするサービスの中には、オンラインで気軽にパートナーを探せる一方、本人確認の徹底が難しいことから、本来の利用方法ではない目的（詐欺等）で近づいてくる人物とマッチングしてしまうこともある。

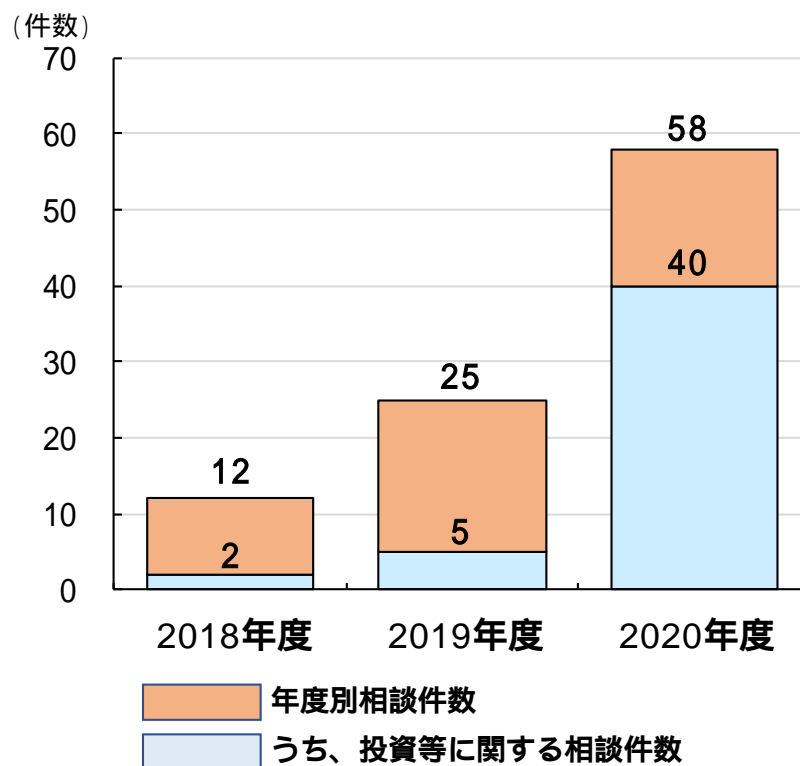
悪質な事例は続いており、利用者にとっても注意が必要である。

相談事例から見える問題点

- メッセージのやり取りだけでは本人確認が難しい
- 紹介された投資サイト等が架空
- 個人情報悪用される可能性がある

- ・投資など利用目的以外における相談件数が年々増加。

< 出会い系サイトやマッチングアプリ等に関する年度別相談件数 >



2018年4月1日から2020年12月31日までに受け付けた相談件数

Check !

利用者に対するアドバイスとして

- 1 出会い系サイトやマッチングアプリ等の規約をよく読んでから利用すること
- 1 投資等の話でうまいもうけ話には安易に応じないこと
- 1 個人情報を安易に提供しないこと